

景気ウォッチャー調査

平成12年8月調査結果

平成12年9月18日

経済企画庁調査局

調査の概要

1. 調査の目的

地域の景気に関連の深い動きを観察できる立場にある人々の協力を得て、地域ごとの景気動向を的確かつ迅速に把握し、景気動向判断の基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の範囲

(1) 対象地域

北海道、東北、関東、東海、近畿、九州の6地域を対象とする。各地域に含まれる都道府県は以下のとおりである。なお、平成12年1月調査は関東を除く5地域を対象とした。

地域	都道府県
北海道	北海道
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、新潟
関東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
東海	静岡、岐阜、愛知、三重
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
全国	上記の北海道、東北、関東、東海、近畿、九州の計

(2) 調査客体

家計動向、企業動向、雇用等、代表的な経済活動項目の動向を敏感に反映する現象を観察できる業種の適当な職種の中から選定した1地域当たり100人、合計600人である。調査客体の地域別、分野別の構成については、別紙を参照のこと。

3. 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断（方向性）
- (2) (1)の理由
- (3) 景気の先行きに対する判断（方向性）
- (4) (3)の理由
- (参考) 景気の現状に対する判断（水準）

4. 調査期日及び期間

調査は毎月、当月時点であり、調査期間は毎月25日から翌月1日である。

5. 調査機関及び系統

経済企画庁が主管し、各調査対象地域に地域ごとの調査を実施する「地域別調査機関」を1か所ずつ設けるとともに、各地域別調査機関による地域ごとの調査結果を集計・分析する「取りまとめ調査機関」を1か所設け、これらの機関に本調査業務を委託して実施したものである。

(取りまとめ調査機関)	財団法人	日本経済研究所
(地域別調査機関)	北海道	株式会社 北海道二十一世紀総合研究所
	東北	財団法人 東北開発研究センター
	関東	財団法人 日本経済研究所
	東海	株式会社 東海総合研究所
	近畿	株式会社 大和銀総合研究所
	九州	財団法人 九州経済調査協会

6. 有効回答率

地域	調査客体	有効回答客体	有効回答率	地域	調査客体	有効回答客体	有効回答率
北海道	100人	99人	99.0%	東海	100人	96人	96.0%
東北	100人	93人	93.0%	近畿	100人	90人	90.0%
関東	100人	94人	94.0%	九州	100人	93人	93.0%
				全国	600人	565人	94.2%

目 次

概要	1
1．景気の現状に対する判断	2
(1) 全国の動向	2
(2) 各地域の動向	2
(3) 景気の現状に対する判断理由	3
2．景気の先行きに対する判断	15
(1) 全国の動向	15
(2) 各地域の動向	15
(3) 景気の先行きに対する判断理由	16
(参考) 現在の景気水準に対する判断	27
(別紙) 景気ウォッチャー(調査客体)の地域別・分野別構成	28

利用上の注意

1. 景気ウォッチャー調査は、本年より新規に行う調査であることから、当面の間、試行的に実施するものであり、今後、必要に応じ変更することもあり得る。
2. 分野別の表記における「家計動向関連」、「企業動向関連」、「雇用関連」は、各々家計動向関連業種の景気ウォッチャーによる景気判断、企業動向関連業種の景気ウォッチャーによる景気判断、雇用関連業種の景気ウォッチャーによる景気判断を示す。なお、このうち雇用関連業種は、主として企業の求人動向に関連した業種である。
3. 表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、計と内訳は一致しない場合がある。

D I の算出方法

景気の現状、又は、景気の先行きに対する5段階の判断に、それぞれ以下の点数を与え、この点数で回答結果の構成比(%)を加重平均して、D I を算出した。

評価	良くなっている (良い)	やや良くなっている (やや良い)	変わらない (どちらとも言えない)	やや悪くなっている (やや悪い)	悪くなっている (悪い)
点数	+ 1	+ 0 . 7 5	+ 0 . 5	+ 0 . 2 5	0

概 要

1. 景気の現状に対する判断

3か月前と比較しての景気の現状に対する判断は、以下のとおりであった。

図表A 全国における景気の現状判断D I
(D I) 平成12年

	6月	7月	8月
合計	50.1	50.4	48.8
家計動向関連	48.2	48.8	46.2
企業動向関連	51.7	52.3	52.6
雇用関連	62.5	60.0	62.5

図表B 各地域における景気の現状判断D I
(D I) 平成12年

	6月	7月	8月
全国	50.1	50.4	48.8
北海道	49.5	49.7	45.5
東北	48.2	46.0	48.1
関東	50.0	50.3	47.1
東海	54.1	53.3	55.7
近畿	48.6	48.6	47.5
九州	50.0	54.5	49.2

2. 景気の先行きに対する判断

2～3か月先の景気の先行きに対する判断は、以下のとおりであった。

図表C 全国における景気の先行き判断D I
(D I) 平成12年

	6月	7月	8月
合計	54.8	51.3	51.2
家計動向関連	53.5	49.3	47.9
企業動向関連	57.1	54.4	57.7
雇用関連	60.4	61.1	63.6

図表D 各地域における景気の先行き判断D I
(D I) 平成12年

	6月	7月	8月
全国	54.8	51.3	51.2
北海道	55.5	50.5	47.2
東北	52.1	49.5	49.7
関東	53.2	52.2	53.7
東海	57.9	53.0	55.7
近畿	57.1	50.8	51.7
九州	52.9	51.6	49.5

1. 景気の現状に対する判断

3か月前と比較しての景気の現状に対する判断は、以下のとおりであった。

(1) 全国の動向

分野別の景気の現状判断D I

図表1-1-1 各分野における景気の現状判断D Iの推移表

(D I)	平成12年					
	3月	4月	5月	6月	7月	8月
合計	55.2	55.2	50.2	50.1	50.4	48.8
家計動向関連	53.3	52.9	47.4	48.2	48.8	46.2
小売関連	51.9	51.2	44.4	47.8	45.5	43.5
飲食関連	54.3	48.3	44.6	42.9	48.6	43.9
サービス関連	55.1	57.0	51.1	50.4	53.1	51.9
企業動向関連	57.0	59.4	57.4	51.7	52.3	52.6
雇用関連	66.7	65.0	56.4	62.5	60.0	62.5

(2) 各地域の動向

地域別の景気の現状判断D I（各分野計）

図表1-2-1 各地域における景気の現状判断D Iの推移表（各分野計）

(D I)	平成12年					
	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全国	55.2	55.2	50.2	50.1	50.4	48.8
北海道	51.5	44.0	43.3	49.5	49.7	45.5
東北	54.1	56.2	50.8	48.2	46.0	48.1
関東	53.8	55.7	50.3	50.0	50.3	47.1
東海	59.8	58.2	56.6	54.1	53.3	55.7
近畿	53.1	58.1	47.1	48.6	48.6	47.5
九州	58.7	59.7	53.2	50.0	54.5	49.2

地域別の景気の現状判断D I（家計動向関連）

図表1-2-2 各地域における景気の現状判断D Iの推移表（家計動向関連）

(D I)	平成12年					
	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全国	53.3	52.9	47.4	48.2	48.8	46.2
北海道	50.3	40.3	39.6	49.0	47.5	43.3
東北	52.5	54.6	46.5	45.7	42.6	44.9
関東	51.5	55.1	48.9	48.9	49.2	45.2
東海	57.5	54.9	57.3	52.8	50.7	52.2
近畿	52.3	56.7	43.4	45.5	48.8	43.0
九州	55.6	56.8	48.5	46.7	54.0	48.5

(3) 景気の現状に対する判断理由

景気の現状に対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

北海道

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	自動車備品販売店(店長)	・オイル関連用品、小物の荷動きが良く、来客数も増加気味である。
		高級レストラン(スタッフ)	・月初めから月末までまんべんなく宿泊者数が増加しており、これに伴って個人客を中心に来客数が増加している。
		高級レストラン(スタッフ)	・有珠山噴火の影響が徐々に薄れ、観光客の来客数が少しずつ増加している。
		高級レストラン(経営者)	・8月の観光シーズンは年間の売上のピークにあたることから売上が増加しているが、中ごろからの落ち込みが大きいので心配している。
		観光型ホテル(役員)	・洞爺湖温泉街が再開したことで売上増加につながっているが、洞爺湖は今年の3分の1程度で推移している。
		旅行代理店(従業員)	・有珠山噴火の影響がほぼ収束し、受注が増加している。
		タクシー運転手	・今年の夏は大変暑かったので、売上が増加している。
	変わらない	商店街(代表者)	・売上は前半に少し持ち直したが、お盆過ぎに急速に落ち込み、最終的には悪い状態が続いている。
		商店街(代表者)	・高温が続いたこともあり、商店街への人の出は良いが、購買については鈍い状態が続いている。
		百貨店(売場主任)	・売上の伸び率、来客数ともにマイナスで推移している。特に紳士服、子供、文玩関係で大きく来客数が減少している。
		百貨店(売場主任)	・不要な物は安くても購入しない。
		コンビニ(エリア担当)	・地域の行事や祭りのついでに来店する客の財布のひもが固く、余計な物を買わない。
		家電量販店(店員)	・エアコン、パソコン、携帯電話の売上は増加したが、全体としては変わっていない。
		家電量販店(フロア一長)	・来客数は3か月前から例年よりも減少しているが、商品の売上が3か月前とほとんど変化ない。
		スナック(経営者)	・8月の初めは観光客等を中心に来客数が多く、売上も少し増加したが、お盆を過ぎてからは最悪状態になり、結局プラスマイナスゼロである。
		その他飲食[酒卸](店長)	・8月は人が街に出る機会が多く、天気も良かったので、お盆前は受注が多かったが、お盆を過ぎてからは非常に暇である。
		タクシー運転手	・依然として、利用客数の落ち込みに歯止めがかからず、乗務員の退職者が目立つ。
		タクシー運転手	・観光客が減少しており、ホテル、バス、ロープウェイでの利用状況が芳しくない。
		住宅販売会社(従業員)	・マンションの売上は好調だが、一戸建ては不調である。
	やや悪くなっている	一般小売店[土産](店員)	・航空運賃の改定によって観光客が減少し、売上が低迷している。
		百貨店(売場主任)	・晴れの日が多く、気温も高い日が続いたため、夏物衣料の処分セールで来客数は増加したが、売上は伸び悩んでいる。 ・婦人、紳士、秋物の動きが悪く、店全体でも売上が低迷しており、非常に厳しい状態である。
		百貨店(売場主任)	・秋物の荷動きがヤング、ミセスともに良くない。単品買いも多くなっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		スーパー（企画担当）	・雪印製品を中心に乳製品等の中元ギフトの売上が伸び悩んでいる。
		スーパー（店長）	・来客数に変化はないが、客単価、一品単価が低下している。雪印問題の影響で客が購買に敏感になっている。
		スーパー（店長）	・食料品は3か月前と同じ水準だが、必需品である肌着の売上が減少している。
		コンビニ（エリア担当）	・天候が良いにもかかわらず、依然として売上が低迷しており、客単価も上昇しない。
		高級レストラン（スタッフ）	・来客数が激減しており、客単価も低下している。
		スナック（経営者）	・観光客の入込が減少しており、スナックへの来客数も減少したままである。
		タクシー運転手	・8月は例年になく暑かったにもかかわらず、タクシーの利用客数が伸び悩んでいる。
		タクシー運転手	・昼間の利用客数はそこそこあるが、夜間の長距離の利用客数が減少するなど、売上の落ち込みが非常に目立つ。
		タクシー運転手	・8月10日から4日間、旭川で日本各地の祭りを集めたイベントが開催されたが、タクシー利用客数は増加せず、期待外れであった。
	悪くなっている	一般レストラン（スタッフ）	・観光客数が大幅に減少したため、来客数、売上ともに減少している。
企業動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	食料品製造業（経営者）	・新商品を中心に荷動きが回復しつつある。
	変わらない	非製造業 [建設機械リース] (支店長)	・受注状況が良くなく、客に新しい物件を発注する意欲がない。
		輸送業（支店長）	・戸建て住宅の受注が落ち込み、建設資材の輸送が減少している。
		その他企業 [コンベンション担当] (従業員)	・ホテル業界の最盛期である8月のわりには、売上がそれほど良くない。
	やや悪くなっている	食料品製造業（団体役員）	・猛暑の影響等により食中毒事件が続き、消費者が加工食品の購買に不安感を感じている。
		非製造業 [建設機械リース] (従業員)	・リース案件の受注が激減している。
		広告代理店（従業員）	・雪印問題が尾を引き、他のメーカーでも問題が多く出たことから、消費者の購買も広告受注も低下している。
		輸送業（総務担当）	・8月に入って荷動きが減少している。
	悪くなっている	-	-
雇用関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	・正社員の採用ニーズが上昇している。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・パート、アルバイトの求人数が好調に増加している。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・相変わらず正社員の求人数の伸びは低いが、アルバイト、パート、派遣社員の求人は全業種にわたって著しく伸びている。
		新聞社 [求人広告] (担当者)	・地方別にみると苦戦を強いられているところもあり、楽観視はできないが、全道的には良好な状況が続いている。
	変わらない	-	-
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	・例年8月に入ると建築、土木関連の求人が増加するが、今年はその傾向がみられない。
	悪くなっている	-	-

東北

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計動向 関連	良くなっている	遊園地（経営者）	・お盆の好天やイベントがヒットした影響で、3年ぶりぐらいの高水準になっている。
	やや良くなっている	コンビニ（エリア担当）	・来客数、客単価が改善している。
		一般レストラン（スタッフ）	・不景気のときには応募が多かった中途採用も、最近は減少してきている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・レストラン部門では来客数が増加し、宿泊部門では稼働率が上昇している。 ・秋口にかけての宴会の予約件数が増えている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・客単価が低下傾向にあるが、来客数が増加しており、過去最高の売上を出している店舗もある。 ・デパートに出店している惣菜店は、利用客数の増加が続き、客単価も上昇している。
		テーマパーク（職員）	・団体の予約が順調に入っており、入場者数が増加している。
		タクシー運転手	・夏祭りやお盆等で人の動きがある。
	変わらない	百貨店（売場主任）	・主な取扱商品である衣料品の売上が悪い。
		百貨店（売場主任）	・猛暑の影響で、夏物関連は好調であった。
		百貨店（総務担当）	・好天が続いたにもかかわらず、夏物商品の売上が期待したほど伸びていない。
		百貨店（売場主任）	・販売促進を行っているが、来客数、売上ともに効果が現れない。
		百貨店（企画担当）	・客単価は前年並みに持ち直したが、来客数、売上が減少している。 ・ヤング層の購買力が低下している。
		スーパー（企画担当）	・3か月前と比較して、客数、客単価ともに悪くなっている。 ・客は、チラシを見て、安い物を買って回る傾向にある。
		スーパー（従業員）	・来客数の減少が止まらず、一進一退を繰り返している。
		スーパー（店長）	・夕方の買物ピークも短時間で収束しており、売上不振の状態が続いている。
		衣料品専門店（店長）	・帰省客のスーツ購入が少なかったが、サマースーツやサマーフォーマルの売上が好調である。
		高級レストラン（スタッフ）	・イベントによる集客力はあるが、客単価が低いので売上の増加につながらない。
		高級レストラン（スタッフ）	・夏休み中は家族連れや旅行客でにぎわったが、月末のビジネス客の減少が大きい。 ・客単価の低下が続いているが、来客数が増加している。
		観光型ホテル（経営者）	・年間のトップシーズンで客室稼働率が高く忙しかったが、家族連れや小グループが多く、館内消費が伸び悩んでいる。
		旅行代理店（従業員）	・パッケージを中心に海外旅行が好調である一方で、国内の宿泊需要が低迷している。
		美容室（経営者）	・客の話では金の使い方がシビアであり、必要な物についても安い物から購入している。
		設計事務所（職員）	・建築関係の受注量は上向いているが、予想を常に下回っている。
	住宅販売会社（経営者）	・住宅展示場の来場者数が少なく、受注も落ち込んでいる。 ・建設業の倒産が目立っているが、好調な業種も若干みられる。	
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	・来街者数、来客数が減少している。
		百貨店（売場主任）	・前年並みを維持してきた食品部門が、し好品を中心に落ち込んでいる。
		コンビニ（店長）	・例年8月は最も売上が良いが、今年は他の月と変わらない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		衣料品専門店（経営者）	・夏らしい天候であったにもかかわらず、夏物衣料の売行きが悪い。
		観光型ホテル（スタッフ）	・前年に比べて売上が減少している。
		都市型ホテル（スタッフ）	・来客数、売上がともに低迷しており、そごうや雪印問題に端を発し、三菱自動車の問題等、ムードが悪すぎる。
		競輪場（職員）	・売上、入場者数がともに著しく減少している。
		住宅販売会社（従業員）	・チラシ等による集客努力にもかかわらず、住宅建て売り販売では来場者数も成約件数も減少している。
	悪くなっている	スーパー（経営者）	・4、5月と比べ、売上の落ち込みが大きい。 ・一品単価が大幅に低下している。
		スナック（経営者）	・お盆休みがあったためか、来客数が少ない。
		観光型ホテル（経営者）	・磐梯山の噴火という風評にあおられ、裏磐梯では大変な影響を受けている。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	食料品製造業（従業員）	・一時的に雪印やそごう問題の影響がみられたが、最近の商品の動きが良くなっている。
		広告代理店（従業員）	・新製品の発表等で、広告量が増加している。
		広告代理店（従業員）	・住宅販売のPRが活発化しており、その反応も良いと聞いている。
	変わらない	食料品製造業（経営者）	・水産加工を主体とした地域であるが、いずれの業種も売上が前年割れとなる厳しい状態にあり、各社とも人件費を抑え残業やボーナスが伸びていない。
		電気機械器具製造業（従業員）	・通信関係等の製造業は仕事が増えている。
		新聞販売店[広告]（店主）	・チラシが多く販売に意欲的な商店がある一方で、代金支払が行き詰まっている店もある。
		経営コンサルタント	・建設業では仕事が増えず、資金繰りが厳しい状態が続いている。
	やや悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	・忙しい業種と忙しくない業種が明確になってきた。 ・電子部材の入手いかんで月々の状況が激変している。
	悪くなっている	-	-
雇用 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	・メーカーの設備投資が雇用面にも波及している。
		新聞社[求人広告]（担当者）	・求人広告が、前年比20～30%増と大幅に上昇している。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・3か月前と比べて、受注内容に変化はなく、前向きな増員計画といった話は聞かない。
	やや悪くなっている		
	悪くなっている	-	-

関東

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	一般小売店[精肉]（従業員）	・客単価が上昇している。
		百貨店（買付担当）	・暑い日が続く、衣料品売場では例年以上に来客数が多い。ヤングゾーンでは50%から70%オフの夏物セール商品が売れ、夏物素材で秋用に製作し正規価格を低く設定した商品の販売も好調である。
		コンビニ（店長）	・売上はやや増加している。
		家電量販店（店員）	・低価格商品だけでなく、高額商品も選んで購入するようになっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由	
		一般レストラン(店長)	・新規企業や店舗などの出店がだいぶ目立つようになっている。	
		スナック(経営者)	・自治労の定期大会開催の影響もあり、8月の売上は比較的增加している。	
		都市型ホテル(スタッフ)	・割烹関係の受注は依然伸び悩んでいるものの、宿泊が増加しているため全体ではやや良くなっている。	
		タクシー運転手	・新宿高層ビルのランチの売上が増加しているという話を聞く。	
		その他サービス[フィットネスクラブ](支配人)	・スポーツクラブの入会がやや増加している。	
	変わらない	百貨店(販売促進担当)	・8月は端境期で商品動向に変化がないうえに、この3か月間、来客数も変化していない。	
		百貨店(売場主任)	・そごうの客が流れてきた影響もあり、ギフトを中心に売上は増加しているが、来客数は減少しており、全体の売上増加にはつなげていない。	
		スーパー(統括)	・8月前半の売上はかなり好調だったが、夕立、雷などの天候不順、中旬以降における雪印の異物混入問題等の影響で、売上は変わらない。	
		スーパー(店長)	・必要な物を主体に売れているが、今年のトレンド商品であるレザージャケットなど一部の商品で、10月以降の先行買いもみられる。	
		コンビニ(店長)	・消費者は話題性のある商品、ヒット商品、生活必需品を引き続き購入しているが、全体的な引締めは続いている。	
		衣料品専門店(従業員)	・客単価、来客数に変化がなく、売上が増加しない。	
		一般レストラン(支配人)	・8月の業況は例年厳しく、来客数、客単価から判断すると、売上は例年とほぼ変わらない。	
		ゴルフ場(支配人)	・精密機械企業による接待利用回数が多くなり始めている。しかし、中小企業のコンベ利用回数の激減、各種の大工、工務店関係者の来場回数が減少するなど業種によりばらつきがあり、全体としては変わらない。	
		その他レジャー施設[アミューズメント](職員)	・来客数は昨年を上回っているが、客単価は低下しており、個々の客が消費に工夫をこらしている。	
		旅行代理店(従業員)	・客の伸びは8月前半までは良かったが、後半から少なくなり、全体として変わらない。	
		旅行代理店(従業員)	・来客数は増えているが、単価が低く、日数も短い商品が選ばれている。	
		タクシー運転手	・来客数が増加せず、利用客、予約客の動向に変化がみられない。	
		やや悪くなっている	スーパー(経営者)	・8月前半の客の1人当たりの客単価はかなり悪く、暑いので水物が売れると予想したが、控えめであった。
			家電量販店(店長)	・客単価が大幅に低下している。
自動車備品販売店(経営者)	・商品の売買、客足ともに鈍い。客の話であまり景気の良い話がない。			
スナック(経営者)	・会社の接待などで飲む機会がほとんどなくなっており、個人で飲みに出る回数も減っている。			
都市型ホテル(スタッフ)	・長野市内は、そごうや大手スーパーの閉鎖等により、相変わらず沈滞したムードになっている。			
タクシー運転手	・2月、8月は仕事が少ない時期であるとはいえ、あまりにも動きがない。駅待ちも1時間を超える日が続いており、深夜の無線も減少している。			
その他サービス[語学学校](営業担当)	・暑さのせいか、来客数は少ないと明確に感じる。3か月前と比較すると、悪くなっている。			
その他サービス[学習塾](経営者)	・各家庭の財布のひもが固くなっており、3年生の後半に少し塾に来るといった生徒が多くなっている。			

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
	悪くなっている	商店街（代表者）	・バーゲン期間中の売行きは昨年並みであったが、それ以外の商品は昨年実績に及ばない。
		高級レストラン（支配人）	・8月の売上はここ数年で最低となり、景気が良くなっているとは全く感じられない。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	非製造業[廃棄物処理]（経営者）	・電話等による問い合わせが多少増えている。
		輸送業（統括）	・中途採用の運転手や事務職員の募集広告に対して、応募率が非常に低くなっている。応募者の中には既に他社の内定を取りつけている人もいて、雇用改善が進んでいる。
		その他企業[情報サービス]（従業員）	・IT革命で、引き合いや仕事の要請は活発である。
	変わらない	電気機械器具製造業（経営者）	・8月は稼働日数が少なく、売上は減少しているが、それを除くと総体的には変わらない。
		その他製造業[金属製品]（総務担当）	・売上が伸び悩んでいる。
		広告代理店（従業員）	・特に目立つような新しい仕事が出てくるわけではなく、いつもと変わらない仕事量である。
		その他企業[情報サービス]（従業員）	・3か月ほど前から、情報通信関係で提案の機会や問い合わせが多くなっており、全体的にやや良い状態が続いている。
		その他企業[物品リース]（従業員）	・設備投資を積極的に行うという感じが出ていないので、変わらない。
	やや悪くなっている	精密機械器具製造業（経営者）	・夏枯れの影響で、受注が好調であった4月、5月の状態までには回復しない。
		その他製造業[プラスチック製品]（経営者）	・受注が減少している。
悪くなっている	-	-	
雇用 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	・企業からの求人が増加している。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・人材派遣先の百貨店に活発な動きがみられず、見通しが立たない状況である。
		人材派遣会社（社員）	・8月は夏休みをとる企業が多く、3か月前と比較して特に大きな変化は見受けられない。 ・雇用の拡大と削減の二極化がみられる。
	やや悪くなっている	新聞社[求人広告]（営業担当）	・割引、サービスキャンペーンの実施にもかかわらず、来客数が減少している。商品が売れず、生産体制を縮小せざるを得ないという企業が最近目立っている。
	悪くなっている	-	-

東海

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	一般小売店（経営者）	・客単価が伸び悩んだ反面、天候が良く人出が増加していることがプラス要因になっている。
		スーパー（店長）	・猛暑が夏商戦に拍車をかけ、月を通して売上、来客数、客単価ともに増加傾向にある。
		コンビニ（エリア担当）	・今年の夏は気温が高く、水物、アイスなどを中心に良く動いており、売上の底上げをしている。
コンビニ（店長）		・近年まれにみる猛暑のお陰で、飲料水、ビールなどが良く売れている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		乗用車販売店（従業員）	・お盆休みで稼働日数が少ないにもかかわらず、来客数、売上ともに例年よりも増加している。
		一般レストラン（スタッフ）	・猛暑続きで冷気を求めて、客が仕事帰りに立ち寄るため来店回数が増加している。
		観光型ホテル（スタッフ）	・利用単価はまだ低下傾向にあるが、宿泊、パーティー、宴会の利用が全体で前年比3～4%ほど良くなっており、総収入で1%前後の伸びになっている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・個人消費が引き続き回復している。
		美容室（経営者）	・7月は急に暑くなったため来客数が減少したが、暑さで髪を切る客が8月は増加している。
	変わらない	一般小売店〔土産〕（経営者）	・値段に非常にシビアに必要な物以外はお金を使わない様子を感じられ、目に見えて景気が良くなっているという感触は薄い。
		百貨店（販売促進担当）	・婦人服はヤングファッションのみが好調、紳士服は不振に逆戻りといった感じで、部門によりやや差がある。
		スーパー（店長）	・食品をはじめ、客単価が相変わらず約15%低下している。
		スーパー（店長）	・秋物が売れ始める時期だが、猛暑の影響もあり、動きが鈍い。
		コンビニ（店長）	・猛暑でビールなどの飲料関係は少し良くなったが、他の商品は変化がない。
		高級レストラン（スタッフ）	・家族客が増加しているほか、一部証券会社の関係客も増加し始めている一方で、一般法人の利用が冷えたままで、力強さを感じられない。
		一般レストラン（スタッフ）	・お盆期間は多少高い商品でも売行きはますます良かったが、お盆明けからは、ゴールデンウィーク明け同様落ち込みが激しい。
		テーマパーク（職員）	・プール利用客数は多かったが、それ以外の有料施設の利用客数が伸び悩んでいる。
		テーマパーク（職員）	・価格に対する客の反応がかなりシビアになっており、価格が手ごろでないと購入しないようになっている。
		テーマパーク（職員）	・お盆期間の来客数は対前年比98%とほぼ良好であったが、月間では90%であり、依然財布のひもは固い。
	旅行代理店（従業員）	・このところ個人旅行は比較的順調だが、全般的には特別良くなってはいない。	
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	・一時期上昇した客単価の伸びが止まり、逆に悪くなってきている。特に自家消費分の客単価が極端に低下している。
		百貨店（販売促進担当）	・ミセス層の動きが少なく、特に婦人服、紳士服の売上が3か月前に比べて減少している。
		百貨店（企画担当）	・猛暑のせいがますます来客数は減少しており、夏物クリアランスセールも不振になっている。
		家電量販店（店員）	・お盆期間の需要はあったが、その前後の需要が良くない。業界的にもリストラが進み、同業者が少なくなるような変化がある。
スナック（経営者）		・客が少人数で来る傾向にあり、午前0時前でも街にいる人の数が少なくなっている。	
スナック（経営者）		・今年のお盆休みは9連休といった大型連休が多かったようで、街の人通りも少なく、全体として売上が1割ほど減少している。	
スナック（経営者）		・夏休みでほかのレジャーに向かったためか、3か月前と比べて来客数が減少している。	
悪くなっている	住宅販売会社（従業員）	・公的機関も含めて金融機関の貸し渋りが厳しく、なかなか契約がまとまらない。	
企業動向関連	良くなっている	税理士	・夏期休暇の影響で大半の飲食関連業者の収入が減少したが、中元贈答品取扱業者及び携帯電話取扱業者の収入は増加している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
	やや良くなっている	電気機械器具製造業（営業担当）	・受注残が増えている。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・受注量が上方修正され、雇用は増加している。
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	・残業がかなり増えてきている。
		輸送業（エリア担当）	・受注が増加している。
		輸送業（エリア担当）	・猛暑の影響で、水物、クーラー関係など夏に関係する荷物が非常に活発であり、夜遅くまで流通している。
		輸送業（エリア担当）	・貨物が増加している。
	変わらない	輸送業（エリア担当）	・取扱荷物量は前年比約110%であるが、収受運賃は落ち込んでいる。
やや悪くなっている	-	-	
悪くなっている	-	-	
雇用関連	良くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	・新規事業部、新規出店による営業スタッフやサービススタッフのほかに、大手メーカー関連の即戦力の大口中途採用が活発化しており、求人件数が増加している。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・依然として、求人件数が高い伸びを続けている。
	やや良くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・静岡、浜松、沼津の新聞求人広告の申込が前年比130%以上、雑誌の求人も150%以上で、新聞求人広告では広告料金の高い大型求人広告が増加している。 ・優秀な人材の起用を本気で検討する企業が増加しており、来春採用の求人広告も対前年比173%と好調である。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・正社員を増やさず、派遣社員で対応する状況が続いている。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	・派遣契約途中での解約が数件あり、その理由の多くが「経費削減」となっている。
	悪くなっている	-	-

近畿

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	コンビニ（エリア担当）	・既存店の1日当たりの平均販売額が対前年比で改善してきている。 ・猛暑のためドリンクなどの売上が増加している。
		コンビニ（店長）	・お盆休みの間は衝動買いが多く、客単価が上昇した。
		家電量販店（店員）	・新製品が出そろい、売上もほぼ順調である。
		その他専門店〔薬〕（経営者）	・非常に暑い日が続いているため、水物、殺虫剤、ビタミン剤などの商品がよく動いている。
		一般レストラン（スタッフ）	・既存店売上高が3か月間前年を上回っている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・個人の利用が増加している。特に最近はクリスマス・ディナーショーの問い合わせが目立つ。
		観光名所（経理担当）	・売上額は前年対比であまり変わらないが、来客数が少しずつ増加している。
		旅行代理店（営業担当）	・客の出が良くなり、前年と比べても件数がやや上向いている。
		美容室（経営者）	・客の来店サイクルが短くなってきている。
住宅販売会社（営業担当）	・客の動きが活発になっており、引き合いや住宅の受注申込が増加している。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
	変わらない	商店街（代表者）	・都心の商店街では土日の人出が減少している。相変わらず単価も低く、売上が伸びない。
		百貨店（売場主任）	・今月も売上は引き続き前年割れが続いている。 ・客は安い物が本当に今欲しい物以外には興味を示さない。 ・残暑が厳しいため秋物の動きが鈍い。
		スーパー（経理担当）	・依然消費が上向きにならず、客の買物動向も消極的な状態が続いている。
		家電量販店（経理担当）	・既存店ベースでの対前年比が3か月前とあまり変わらない。
		一般レストラン（スタッフ）	・予約状況が横ばいである。
		観光型旅館（経営者）	・客数、客単価とも5月とほぼ変わらない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・レストランのランチやディナー、宿泊も好調だが、戦略的に価格を下げた商品だけが売れており、全体の収入は変わらない。
		観光名所（経理担当）	・売上が予想ほどには増加していない。
		観光施設（企画担当）	・客単価が低下している。
		旅行代理店（営業担当）	・夏の反動からか、秋の旅行の申込が前年同期を下回っている。しかし、近年出発間際の申込が増加しており、様子を見る必要がある。
		タクシー運転手	・10円でも安いタクシーを利用する客が目立ち、タクシー料金は大幅に下落している。
		タクシー運転手	・客との対話では、景気はやや動いてきたという声も聞かれる反面、全く良くないとの声もあり、半々である。
		住宅販売会社（従業員）	・受注における値引き交渉が厳しく、金額も大きい点であり変わらない。
	その他住宅[情報誌]（編集者）	・マンションの売行き等にあまり変化がなく、大きな増減がない。	
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	・ファッション関係では、残暑が厳しいため秋物への移行がかなり遅れ、その分消費が落ち込んでいる。
		商店街（代表者）	・連日の猛暑により昼間の人出がかなり少ない。夕方になると多少増加するが、全体を通して例年より来客数が少ない。
		百貨店（売場主任）	・客は現金で買物をするというより、家に残っていた商品券等をかき集めて必要な物だけ買っている。 ・親子で来店しても子供の物だけ買って帰る客が多い。
		百貨店（売場主任）	・食品は雪印の影響などもあり低調で、紳士服、子供服も苦戦している。一方、婦人服は前年を少し上回るが、全般的に厳しい内容である。
		百貨店（売場主任）	・来客数が減少し、客単価は低下している。
衣料品専門店（店員）		・売れない時期であったことに加え、猛暑であったので、売上が前年を下回っている。	
その他専門店[時計]（経営者）		・大手企業の不祥事が相次いだことが、消費の足を引っ張っている。	
一般レストラン（スタッフ）		・節約型消費となっている。ビールの消費量は増加したが居酒屋、レストランでの消費は減少し、コンビニ、自販機での売上は増加していると聞く。	
都市型ホテル（スタッフ）		・売上が全体的に前年実績を割り込み、今月は非常に苦戦している。	
悪くなっている		商店街（代表者）	・猛暑のため人通りが少ない。
	コンビニ（経営者）	・競合店が増加しており、売上が全般的に落ちている。	
	その他専門店[宝石]（経営者）	・宣伝広告等に対する反応が悪く、客数が若干減少している。単価はますます低下している。	
	テーマパーク（職員）	・客単価、消費動向が著しく悪化している。	
	競輪場（職員）	・レジャーの多様化等に伴い、客1人当たりの車券購入額及び入場者数が連続して減少しており、売上が落ち込んでいる。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
企業 動向 関連	良くなっている		
	やや良くなっている	一般機械器具製造業（経営者）	・安定した注文を受けている。
		一般機械器具製造業（経営者）	・売上がやや増加している。
		電気機械器具製造業（経営者）	・ベアリングが増産体制に入っている。 ・半導体は品不足で納期が長い。
		電気機械器具製造業（経営者）	・受注が増加している。
		電気機械器具製造業（経営者）	・受注残がかなり増加している。外注先等も多くの仕事を抱えており、これ以上注文を受けられない状況である。
		その他企業[ネジ]（団体役員）	・対前年同月比が出荷額、出荷総量とも上向いてきている。
	変わらない	一般機械器具製造業（経営者）	・引き合い、受注が変わらない。
		その他製造業[紙加工品]（経営者）	・受注量に大きな変化がない。
		広告代理店（従業員）	・受注量にあまり変化はみられないが、値引き要請がより厳しくなっているため利益率が少し低下している。
	やや悪くなっている	その他企業[タオル]（団体職員）	・夏場だが受注数量が伸びず、出荷価格も低水準で推移している。
	悪くなっている	その他企業[ゴム製プラスチック製履物]（団体役員）	・受注が減少している。
		その他企業[自転車製造卸]（団体職員）	・前年比の売上が低下しており、このままの状態が続くと当業界の存続すら危ぶまれるような状況である。
雇用 関連	良くなっている	人材派遣会社（社員）	・新規の発注に応じきれないほど人材派遣の需要が増加している。
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	・IT、通信、半導体など特定分野において雇用の拡大傾向がみられる。
	変わらない		
	やや悪くなっている		
	悪くなっている		
			-

九州

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	コンビニ（店長）	・前年比2.6%の売上増で、景気は確実に良くなってきている。
		テーマパーク（職員）	・夏休み期間中、宿泊及びアミューズメント施設は前年より良かった。
		旅行代理店（従業員）	・個人旅行客数が増加しており、また海外旅行は前年比30%増である。
	やや良くなっている	商店街（代表者）	・商店街の消費動向が改善しており、町もにぎわいを取り戻してきたようだ。
		コンビニ（店長）	・キャンペーン等により来客数が増加傾向、客単価が上昇傾向にある。
		インテリア専門店（従業員）	・売上が昨年を上回った。
		家電量販店（店員）	・BSデジタル対応のテレビが発売されたが、予約数が予想を上回っており財布に余裕を感じる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・夏休み期間は家族連れ等で稼働状況が良かった。
		パチンコ店（従業員）	・お盆も売上が良く、猛暑で涼を求めて入店する客も多かった。
		旅行代理店（従業員）	・量が増えてきており、質も良くなってきている。
		タクシー運転手	・猛暑のため客の利用頻度が増えている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
	変わらない	一般小売店[精肉] (経営者)	・中元の時期にもかかわらず、ほとんど変わりがない。
		百貨店(販売促進担当)	・店頭の売行きは不調、一品単価や客単価は低迷、来客数は8月に入り鈍化するなど、まだまだ個人消費の回復には遠い。
		スーパー(店長)	・相変わらず単価の下落が続いており、また安くなっても必要でない物は買わないという傾向が強い。
		スーパー(店長)	・来客数は横ばいだが単価は下がっており、安くても必要でない物は買わないという傾向は変わらない。
		スナック(店長)	・帰省客等で売上を維持できた。
		スナック(店長)	・夏休みで県外の客が来店し、何とか持ちこたえている。
		ゴルフ場(支配人)	・猛暑の影響もあって、客足は低迷を続けている。
		タクシー運転手	・猛暑の影響で日中の利用客数は多かったが、夜間は相変わらず少なく全体的には良くない。
		設計事務所(職員)	・新規物件も少なく、景気が良いという実感はない。
	やや悪くなっている	商店街(代表者)	・夏物は終わる時期だが、暑さのせい秋物が売れない。
		商店街(代表者)	・暑さが厳しいせいか客足が鈍く、売上、単価も夏物バーゲンで下落傾向が続いている。
		一般小売店[鮮魚] (従業員)	・暑さが厳しいので、客の中心となる年配層がなかなか買物に来ない。
		百貨店(営業担当)	・相次ぐ食品会社の不祥事によって客の消費性向は低下しており、食品は前年実績を割っている。
		百貨店(営業担当)	・来客数、客単価は依然低く、そごうの倒産の影響が多少ある。
		衣料品専門店(総務担当)	・中元ギフトやお盆の帰省客に期待したが、予想に反して、前年実績をも下回る状態である。
		家電量販店(企画担当)	・7月は猛暑の影響で売上が良かったが、8月に入り前年割れで落ち込んでいる。
		家電量販店(店長)	・相変わらず客単価は低く、必要でない物は買わない傾向にある。
		乗用車販売店(従業員)	・自動車メーカーのリコール問題のため現在は修理で手いっぱいであり、新車の販売は難しい状況である。
	悪くなっている	商店街(代表者)	・そごうの倒産により全国のメーカーが苦しい状態に陥っており、商品供給が厳しくなっている。
企業動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	電気機械器具製造業(経営者)	・大手からの発注状況は各社安定してきている。
		精密機械器具製造業(経営者)	・部品の受注数が増加している。
		輸送業(従業員)	・8月は天候に恵まれ、野菜の出荷が順調である。
		輸送業[倉庫](従業員)	・今まで以上にコンテナの数が増加し、メーカーからも単価を下げるかわりに在庫を増やすという話もきている。
	変わらない	食料品製造業(経営者)	・業界全体が低価格に移行している。
		一般機械器具製造業(経営者)	・仕事に波があり、低水準で推移しており、景気が良くなる兆しはみられない。
		経営コンサルタント	・ベンチャーやIT産業がもてはやされているが、割と実態がみえない。
	やや悪くなっている	農林水産業(経営者)	・お盆需要も伸び悩み、ギフト商品も昨年より悪い。
		電気機械器具製造業(経営者)	・得意先が中間決算で在庫調整に入り、発注を控えてきたため売上が減少している。
		広告代理店(従業員)	・折込チラシの量が減ってきている。
	悪くなっている	輸送用機械器具製造業(経営者)	・漁船を造っているが、魚の値段も安く漁獲高も少ないため、発注は少ない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
雇用 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	・客の依頼及び今後につながる案件も増えてきている。
		求人情報誌製作会社（総務担当）	・中途採用が前年比2割増で伸びてきている。
	変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）	・人材派遣業や請負業の求人は多いが、その他一般企業に積極性がみられない。
		新聞社[求人広告]（担当者）	・求人は良くなっているが、全体的に景気が良くなってはいない。
	やや悪くなっている		
悪くなっている	-	-	

2. 景気の先行きに対する判断

2～3か月先の景気の先行きに対する判断は、以下のとおりであった。

(1) 全国の動向

分野別の景気の先行き判断D I

図表2-1-1 各分野における景気の先行き判断D Iの推移表

(D I)	平成12年					
	3月	4月	5月	6月	7月	8月
合計	54.9	55.5	54.2	54.8	51.3	51.2
家計動向関連	53.8	53.5	52.7	53.5	49.3	47.9
小売関連	53.3	53.1	49.2	51.8	46.3	45.4
飲食関連	52.6	52.2	56.7	54.5	47.6	48.2
サービス関連	54.9	53.9	55.7	55.0	53.3	52.4
企業動向関連	53.8	58.5	56.5	57.1	54.4	57.7
雇用関連	67.2	66.1	61.7	60.4	61.1	63.6

(2) 各地域の動向

地域別の景気の先行き判断D I（各分野計）

図表2-2-1 各地域における景気の先行き判断D Iの推移表（各分野計）

(D I)	平成12年					
	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全国	54.9	55.5	54.2	54.8	51.3	51.2
北海道	52.0	46.0	50.0	55.5	50.5	47.2
東北	54.6	57.2	54.6	52.1	49.5	49.7
関東	52.5	57.2	55.4	53.2	52.2	53.7
東海	60.3	59.7	58.6	57.9	53.0	55.7
近畿	54.4	57.5	54.2	57.1	50.8	51.7
九州	55.3	55.6	52.7	52.9	51.6	49.5

地域別の景気の先行き判断D I（家計動向関連）

図表2-2-2 各地域における景気の先行き判断D Iの推移表（家計動向関連）

(D I)	平成12年					
	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全国	53.8	53.5	52.7	53.5	49.3	47.9
北海道	50.0	42.7	48.3	54.9	48.9	44.4
東北	53.5	54.6	51.8	49.6	46.3	47.4
関東	50.8	57.2	54.5	51.9	50.4	50.0
東海	59.2	56.6	57.3	57.3	50.0	51.4
近畿	54.2	56.7	53.1	54.1	48.4	48.8
九州	54.5	53.4	51.5	52.9	51.5	45.8

(3) 景気の先行きに対する判断理由

景気の先行きに対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

北海道

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	乗用車販売店（従業員）	・主力車種がモデルチェンジするので、それに期待している。
		自動車備品販売店（店長）	・秋口からスタッドレスタイヤの商戦に入るが、タイヤの動きが良いので、上向きになる。
	変わらない	商店街（代表者）	・消費者の動向に依然として活気が感じられない。
		スーパー（店長）	・高額商品、衣料品が伸びておらず、低額商品しか買わない。
		コンビニ（エリア担当）	・高額商品に動きがみられず、食品でも生活に密着した商品しか買わない。
		衣料品専門店（店長）	・安くて良い物を買うという志向が強い。
		家電量販店（店員）	・秋にはオリンピックがあり、家電業界はTV、ビデオ、BSアンテナ等の売上が増加するが、それ以外の家電は停滞気味である。
		高級レストラン（スタッフ）	・秋口は季節の変わり目で毎年良くない。イベントを一つ計画しているが、その効果は現状維持程度である。
		高級レストラン（スタッフ）	・地元企業に活力がなく、宴会部門では苦戦を強いられる。
		一般レストラン（スタッフ）	・航空運賃の値上げによる来客数の減少が、空港にある店の売上に大きく影響しており、この状態が変わる要素がない。
		スナック（経営者）	・8月までの売上をみても、去年よりずっと下回っており、これから良くなるという明るさが全くみえない。
		タクシー運転手	・我々の仕事では、年間を通じてみると7、8月の収入は比較的良好ほうであるが、例年より落ち込みが激しいことから、2、3か月で景気が良くなるとは思えない。
		タクシー運転手	・観光への依存度が高いが、現状で観光客の入込が2割減少しており、この状態が回復する見通しが無い。
	美容室（経営者）	・天候が良かったため、客から旭川の米の作柄は良かったと聞いているが、他の業種については良い傾向にあるという話をあまり聞かない。	
	やや悪くなっている	百貨店（売場主任）	・雪印問題は、今後じわじわと市場に影響が出る。 ・北海道では珍しい残暑の影響で秋物商戦がどのようになるのかが不安である。
		高級レストラン（スタッフ）	・夏のトップシーズンにもかかわらず、観光客の入込の減少が続いており、夜の外出需要が減少している。
		スナック（経営者）	・毎年9月、10月は観楓会などがあり忙しい時期であるが、今年に関しては、倒産や指名停止企業が多く、客が街にあまり出てこない。
	悪くなっている	一般小売店〔土産〕（店員）	・今後も観光客数の落ち込みが続き、秋は団体客が7割を占めるため、客単価も低い。
		百貨店（売場主任）	・衣料を含めて、高額商品の売上が、冬のボーナス商戦にあまり期待できないこともあり、今のままでは悪い状況になる。
設計事務所（所長）		・この時期に受注がない状態であり、北海道は冬に向かって工事着工が更に少なくなっていく。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
企業 動向 関連	良くなっている	非製造業 [建設機械 レンタル] (総務担 当)	・ 談合問題等の不祥事に対する措置も一段落したので、公 共工事の受注状況が良くなる。
	やや良 くなっている	輸送業 (支店長)	・ 住宅は相変わらず大きな改善はみられないが、有珠山噴 火の被害の復旧工事が活発化してくる。
		その他企業 [コンペ ンション担当] (従 業員)	・ 8月はまだ良くなかったが、9月からの予約状況が好 調である。
	変わらない	食料品製造業 (団体 役員)	・ 地域産業に明るさが感じられない。水産加工品の価格競 争が厳しく、採算割れの状況を脱することが困難である。
	やや悪 くなっている	その他製造業 [印刷] (経営者)	・ 雪印大樹工場の問題が発表され、再度先行き不安が広が っている。
	悪くなっている	-	-
雇用 関連	良くなっている	-	-
	やや良 くなっている	人材派遣会社 (社員)	・ 雇用契約を更新するとともに、従業者数を増やす企業が 多い。
		求人情報誌製作会社 (編集者)	・ 利益はともかく、仕事量は増加するとの声がある。いな 業界から聞こえてくる。
	変わらない	求人情報誌製作会社 (編集者)	・ 土木関連が良くなっていることから、交通警備等の求人 が増加している。ただ飲食関連の不振はまだ改善していな い。
		新聞社 [求人広告] (担当者)	・ 百貨店、住宅関連、観光、ホテルなどで売上が横ばいか ら減少気味であり、従来のような大型広告もなかなか回復 してこない。
	やや悪 くなっている	-	-
	悪くなっている	-	-

東北

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	タクシー運転手	・ 乗客数が増え、待ち時間が短くなっている。 ・ チケット利用者数が増えている。
	やや良 くなっている	高級レストラン (ス タッフ)	・ 個人需要が活発になっているうえに、今後、ビジネス客 の増加も見込める。
		高級レストラン (経 営者)	・ 来客数が少しずつ増えてきている。
		一般レストラン (経 営者)	・ 年末に向けて宴会が増える。
		スナック (経営者)	・ 古い客が戻って来たり、新しい客が来たりと、現在は、 5 ~ 6 年周期の客層の変わり目に当たっており、やや期待 できる。
		観光型ホテル (ス タッフ)	・ 予約が増加している。 ・ 取引業者の話や客の会話に明るさがみられる。
	都市型ホテル (ス タッフ)	・ 各部門とも、来客数が増加してきている。	
	住宅販売会社 (経 営者)	・ 新聞の折込チラシの半数以上が住宅関係であり、競争が 激化している。	
	変わらない	百貨店 (売場主任)	・ 衣料品において、低価格傾向が続いている。
		百貨店 (企画担当)	・ 今より下がることはないと思うが、先行きが非常に不 透明である。
		百貨店 (総務担当)	・ 消費者の購買行動が慎重になっている。
		百貨店 (売場主任)	・ 秋のファッションはエレガンスモードに特化するため、 ミセスの購買意欲が高まる。 ・ 郊外の大型店の出店が相次ぎ、過当競争が懸念される。
		スーパー (従業員)	・ 来客数に変動がない。
		スーパー (店長)	・ 1 人当たりの買上点数が増加しているものの、客単価が 低いままである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（エリア担当）	・買上点数が減少傾向にあり、販促活動も効果がない。
		コンビニ（店長）	・最も売上が上がるはずの8月の売上が伸び悩んでいる。
		衣料品専門店（店長）	・猛暑にもかかわらず売上が伸びなかったため、今後も天候の影響に期待できない。
		その他専門店[酒類]（経営者）	・全体的に良くなる感じがするが、今後の消費動向は12月の商戦の結果をみなければ判断できない。
		高級レストラン（スタッフ）	・予約が増加していない。
		遊園地（経営者）	・秋の行楽シーズンの客の動向が予測できない。 ・消費の底打ち感がまだ感じられない。
		テーマパーク（職員）	・入場者数が増加しているが、館内の利用単価が変わっていない。
		旅行代理店（従業員）	・大型団体の海外旅行の申込があるが、景気が良くなっているとは言えない。
		美容室（経営者）	・現在は良くも悪くもなく、今後も良くなる状況にはない。
	やや悪くなっている	乗用車販売店（従業員）	・関連会社の問題の影響で、売上の減少が予想される。
		観光型ホテル（経営者）	・秋の行楽シーズンの予約状況は、9、10月は、平年並みであるが、11月は団体客の予約が少なく落ち込みが大きい。
		住宅販売会社（従業員）	・金利の上昇を控えているにもかかわらず、なかなか客の住宅購入に結びつかない。
悪くなっている	観光型ホテル（経営者）	・観光に関しては全く回復していない。	
企業動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	食料品製造業（従業員）	・受注が順調に推移している。
		食料品製造業（経営者）	・これから水産加工業が盛業期に入るため期待できる。
		電気機械器具製造業（従業員）	・年末に向けて受注の増加が予想される。
		広告代理店（従業員）	・広告量が増え続けている
		輸送業（経営者）	・物の動きが少しずつ増えてきている。
		経営コンサルタント	・下請企業の受注量が増えている。
	変わらない	木材木製品製造業（経営者）	・現在より悪くなるとは考えにくいだが、良い材料も見当たらない。
		電気機械器具製造業（従業員）	・通信関係は好調であるものの、取引先の小売業者は、非常に厳しい。
		広告代理店（従業員）	・好影響を与えそうな要素が見当たらない。
	やや悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	・月を追うごとに量産関係の仕事が減少し、採算性の低い製品の受注が多くなってきている。 ・先々の予測がつかない。
悪くなっている	-	-	
雇用関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	新聞社[求人広告]（担当者）	・求人広告の上向き傾向は当分続くと思われるが、求人が大型流通やIT関連に偏っており、全体の上向き感はない。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・人材の需要は、欠員補充が中心であり業務拡大等によるものではない。
		人材派遣会社（社員）	・受注はあるが、契約終了が相次いでおり、先行きの暗い話も多い。
		人材派遣会社（社員）	・メーカーを中心に受注が多いが、サービス産業への転化はまだである。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（従業員）	・コンピューター関連の雇用が促進され、20、30代の雇用が増加しているが、40、50代の雇用が減少している。
悪くなっている	-	-	

関東

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている		
	やや良くなっている	スーパー（統括）	・ 来客数、買上点数ともかなり増加しているため、異物混入等の問題が一段落して消費者の不安が解消されれば、今後売上が伸びてくる。 ・ 消費意欲はかなり高まってきているので期待できる。
		スーパー（店長）	・ ファッションのトレンドがカジュアルー辺倒からエレガント系に大きく変化していることと、ミレニウムが消費のきっかけになるのではないかと期待している。
		乗用車販売店（従業員）	・ 新型車の発表を控えており、需要も多くなる。
		一般レストラン（支配人）	・ 9月から11月の予約状況は、昨年に比べて少し上向いている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・ 催事関連での宿泊が若干増加している。
		旅行代理店（従業員）	・ 月末に入り、問い合わせ件数、見積件数ともに増加している。
		その他サービス[語学学校]（営業担当）	・ 気候が良くなれば来客数は増加するので、景気は良くなる。
	変わらない	一般小売店[精肉]（従業員）	・ 行楽シーズンなので、消費者はレジャー等にお金をかけて、食品への支出は少し抑えるという傾向になっている。
		百貨店（販売促進担当）	・ 今後3か月間、景気に対する好材料、悪材料は見当たらず、低迷したままである。
		スーパー（経営者）	・ 高額食品は出ているが、量は少ない。単価の低い物が売れており、メーカーもそちらに重点を置いている。
		コンビニ（店長）	・ 来客数は増加すると期待しているが、将来不安があるため景気はそれほど良くなる見込みはない。
		衣料品専門店（従業員）	・ 客の購買行動に変化を感じない。
		乗用車販売店（従業員）	・ 一部業種を除き、先行きに不透明感が強く、個人消費が伸びない。
		高級レストラン（経営者）	・ いろいろな業種の人と話をすると、景気が良くなる材料がなく、売上が減少しているという話が多い。
		一般レストラン（経営者）	・ 景気が少しずつ良くなっているとしても、飲食業のような末端に波及効果が出るには2、3か月以上かかる。
		スナック（経営者）	・ 現状の好調さが継続してほしいという程度である。
		都市型ホテル（スタッフ）	・ 市内の景況はまだ暗く、現状のまま推移する。
		ゴルフ場（支配人）	・ コース管理事務所の男性2人の採用はすぐ決まったが、30歳くらいの女性をキャディとして募集しても、なかなか応募がない。パートの女性の求人が多いようだ。
		競馬場（職員）	・ 4月から8月までの間で、8月の旧盆開催以外はすべて前年売上を下回っており、先行きは変わらない。
		その他レジャー施設[アミューズメント]（職員）	・ 客の消費態度が2、3か月で変わるとは考えられない。
		旅行代理店（従業員）	・ 来月、再来月の予約状況をみると、3か月前からほとんど変わっていない。
		タクシー運転手	・ 今後とも、一般利用並び法人利用は期待できない。
		その他サービス[フィットネスクラブ]（支配人）	・ 今後2、3か月間の会員数は横ばいと考えている。
		住宅販売会社（従業員）	・ 住宅ローン減税延期の可能性があるため、客は一戸建て住宅購入をゆっくり検討している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	・全体的に客の流れが悪い。更に、中心街に来る客が徐々に少なくなっており、街の人通りもだんだん寂しくなっている。
		百貨店（売場主任）	・春夏物に比べて秋冬物の買上単価は上昇するので、価格に関してはより一層シビアな見方が出てくる。2、3か月後の昇給が現在のまま推移とした場合、かなり厳しい。
		百貨店（買付担当）	・今年の秋冬の婦人服ファッションは、70年代を中心としたコンサバティブな流れとなっている。最初の9月には売行きが良いものの、その後2、3か月すると競合店でも同質商品がそろうため、差別化できないことが懸念されている。 ・昨年同様、暖冬になると単価が低下し、前年度の売上を確保することが非常に厳しい。
		スーパー（店長）	・暑さが続くため、秋物衣料はまだ動いていない。 ・食品は、異物混入の過剰反応、過剰報道で売上が伸びない。
		スナック（経営者）	・先行きに不安感、不透明感がある。
		その他サービス[学習塾]（経営者）	・全体的に財布のひもが固い。
			悪くなっている
企業動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	・注文は増加してきている。
		精密機械器具製造業（経営者）	・夏休みも終わり、今後需要が伸びてくる。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・夏休み期間のわりには業況はまあまあだったので、今後は良くなる。
		その他製造業[印刷]（営業担当）	・年賀状の印刷等、年末商戦で良くなっている。 ・8月末以降、来客数、客単価が緩やかに上昇している。
		広告代理店（従業員）	・求人広告の掲載等の問い合わせを受けるようになってきている。
		輸送業（統括）	・当分の間は受注量が減少する要因はない。車や人員などの輸送体制の強化を荷主から要請されているので、これから良くなる。
		輸送業（営業所長）	・2、3か月後の搬入の予定表をみると、8月より忙しいようだ。
	その他企業[情報サービス]（従業員）	・現在IT革命が進んでいるが、浸透するまでには相当の時間がかかり、景気は緩やかな回復基調を続ける。	
	変わらない	電気機械器具製造業（経営者）	・上昇傾向にある業種も一部みられるが、まだ不良債権の処理に手間取ること、長野でのそごう、大手スーパーの撤退もあり、全体ではやや沈滞したムードで変わらない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・自動車メーカーのリコール届出不履行の問題やタイヤメーカーのアメリカ子会社が品質不良品を販売し、次々とPL（製造物責任）訴訟で訴えられている事件は、今後の日本経済に悪い影響を与える。そのため、今後2、3か月の売上も、やや悪い状態で変わらない。
		その他製造業[プラスチック製品]（経営者）	・良い業種と悪い業種の業況に格差があり、全体としては変わらない。
		その他企業[情報サービス]（従業員）	・問い合わせなどがやや増加傾向にあるが、その状況が今後も継続していく。
やや悪くなっている	広告代理店（従業員）	・資金繰りがつかなくなっている企業が増えている。今後2、3か月で非常に危ない状況になりそう。	
	悪くなっている	-	-

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
雇用 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	・秋に向けて、求人者、求職者に動きがみられる。 ・高齢者の求人依頼もきている。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・事業を拡大している企業が目立っている。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・店舗や支店の開店、秋物商品の増産などでやや良くなる。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・新規の派遣需要に動きがみられる。一方で、いまだに人員削減や業務統合、見直しを実施する企業があり、先行きは不透明である。
	やや悪くなっている	-	-
悪くなっている	-	-	

東海

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	一般小売店（経営者）	・雪印乳業の事件以降、食品に対する客の警戒心は強まっているが、これらが一巡し、食品業界全体が緊張感を取り戻せば、プラスに動く。
		乗用車販売店（従業員）	・以前のような全面的な買い控えはほとんどなくなり、必要な物は購入するようになってきている。
		乗用車販売店（従業員）	・各社から新商品の投入が予定されている。
		高級レストラン（スタッフ）	・支払う価値のある物にはお金を使うという意欲がみられ始めている。
		観光型ホテル（スタッフ）	・3か月先の予約状況は3～5%ほど良い状況となっている。
		テーマパーク（職員）	・暑さで人の出足が鈍っていたので、涼しくなれば、消費意欲は高まる。
		旅行代理店（従業員）	・流通関連はそれほど良くなっていないが、空港関連、万博関連は動きが出てきており、IT関連も動きが良くなる。
	変わらない	百貨店（販売促進担当）	・低価格のファッションが定着してきており、買上点数は増えても売上が増加してこない。
		スーパー（店長）	・今の景気水準での消費パターンが出来上がってしまっているため、しばらくはこのままの状態が続く。
		コンビニ（エリア担当）	・客単価の伸び悩みは依然続いており、この状況は当分続く。
		家電量販店（店員）	・客の支払方法をみると、ボーナスの前倒しが多いように感じ、先行きの消費が先取りされている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・2000年ということで婚礼の予約は入っているが、企業の利用予約が少ない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・メーカーの生産管理の問題がマスコミをにぎわし、企業動向が悪化する。
		テーマパーク（職員）	・来園はある一方で、客の財布のひもは固いままである。
		旅行代理店（従業員）	・今年にある6回の3連休のうち、前半の3回は予約が好調だったのに比べて、この先の3連休に関しては今のところ目立った動きはない。
		タクシー運転手	・週末の夜に街にいるのはほとんど若者で、会社員の姿が少なく、今後しばらくこうした状態が続く。
		タクシー運転手	・中部国際空港の着工は期待されるが、愛知万博は縮小され思ったより期待ができない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	やや悪くなっている	百貨店（売場主任）	・食品業界の不祥事が続出しているうえに、自動車メーカーのリコール隠し事件が起きるなど、商品に対する不信感が広がっているため、商品選別が厳しくなり購買意欲が減少する。
		百貨店（販売促進担当）	・昨年は中日ドラゴンズの優勝により、売上が増加したが、今年はそれに代わる要因がない。
		スーパー（店長）	・食品事故の問題が非常に多いので、客の食品の買い方が非常にシビアになっている。 ・秋物衣料品が売れる時期に、猛暑の影響で全く動かないことから、消費全体が停滞する。
		コンビニ（エリア担当）	・今年は猛暑で売上が増加したため、夏が終われば、売上は低迷する。
		コンビニ（店長）	・食品事故の問題が非常に多いので、消費者の不信感が強まっている。
			ゴルフ場（経営者）
	悪くなっている	-	-
企業動向関連	良くなっている	経営コンサルタント	・名古屋の事務所需要が高まり、入居希望が増加している。 ・企業が生産を拡大し、販売を強化する動きが出てきている。
	やや良くなっている	その他製造業〔プラスチック製品〕（従業員）	・自動車関連は秋口より新型車の投入やマイナーチェンジがあるため、関連の新規部品の増加を見込んでいることにくわえて、住宅産業による需要を期待している。
		輸送業（エリア担当）	・受注の増加と在庫の減少により、今までより上向きな生産計画を立てている。
	変わらない	輸送業（エリア担当）	・ここ3か月、取扱荷物量と収受運賃は横ばい状態にあるが、今後、この動きが変化する材料はみつからない。
	やや悪くなっている		
	悪くなっている		
雇用関連	良くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	・新規事業を展開する企業が大幅に増加しており、そうした企業を中心に企業業績が良くなる気配がある。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・2、3か月先に向けて新規プロジェクトを立ち上げるなどの話題を、客から頻繁に聞いている。
	やや良くなっている	アウトソーシング企業（エリア担当）	・ここ数か月間、今がピークで今後は失速するだろうと予想し続けてきたが、実際には上昇が続いていることから、この上昇はしばらく続く。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・企業の採用担当者から仕事が忙しくなったという話をよく聞くため、求人件数の増加は今後も続く。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・IT関連が好調で、部品メーカーだけでなくFA機器や工作機械、半導体部品洗浄機械など製造設備メーカーまで、求人が広がっている。 ・物流が活発になってきたのか、運送業の求人も増加している。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・正社員の代替目的の派遣社員需要が多く、本来の雇用回復にはまだまだ至っていない。
		人材派遣会社（社員）	・IT関連や自動車関連は雇用が少しずつ増加しているが、全体の情勢にはあまり変化が感じられない。
		やや悪くなっている	-
	悪くなっている	-	-

近畿

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計動向 関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	衣料品専門店(店員)	・雪印、そごう問題も終わりつつある。	
		家電量販店(店員)	・新しいオペレーションシステムが発売される予定であり、需要が見込まれる。	
		その他専門店[薬](経営者)	・暑さが続いたため秋口になれば体力の消耗が響き、体力回復や疲れをとるための商品が特に動くと思われる。	
		都市型ホテル(スタッフ)	・宿泊の予約が前年より好調である。ただし、直近の予約は前年以下であり不透明感がある。	
		観光名所(経理担当)	・少しずつではあるが、毎月の来客数が前年に比べ増加しており、やがて客単価も上昇し、売上が回復すると見込まれる。	
		旅行代理店(営業担当)	・連休、夏休みなどを挟み、客の動きがやや活発になってきている。	
		タクシー運転手	・客とのやり取りの中で、以前より動きが出てきたという声も聞かれる。	
		美容室(経営者)	・客から景気が上向いてきているという話を徐々に聞くようになってきている。	
	変わらない		商店街(代表者)	・商品の購買決定に時間がかかり、依然として単価も低い。
			商店街(代表者)	・デパートの破たん等の影響により、消費が上向きになるのは難しい。
			百貨店(売場主任)	・商品単価の低下傾向により、客の購買単価が低下し、全体の売上が減少する傾向が続く。 ・業界全体にヒット商品が現れない限り、今後3か月の景気の上昇は見込めない。
			百貨店(売場主任)	・順調な動きを示していた婦人衣料の売上が鈍化傾向にある。
			スーパー(経理担当)	・企業がリストラや残業カットの方針を打ち出しているため、新たに消費に回す可処分所得が少ない状況である。
			スーパー(経理担当)	・流通業にとっては繁忙期のはずだが、売上が前年を下回り、特に衣料品と住関連商品が振るわない。
			スーパー(経理担当)	・先行きに対する不透明感から、買い控えが予想される。
			乗用車販売店(営業担当)	・客の動きが変わっていない。
			スナック(経営者)	・客が少なく、最低限の従業員数で業務を行っているが、それでも苦しい状況にある。 ・船場の店主の話によると、来客数が減少しているうえに、ウィンドウ・ショッピングが多く、お金を使わないとのことである。
			都市型ホテル(スタッフ)	・個人利用の予約は増加傾向だが、企業関係の利用が本格化していない。
			観光名所(経理担当)	・行楽シーズンに入るため団体客の増加はある程度見込めるが、前年からみれば良くはならない。
		観光施設(企画担当)	・具体的に良くなっているという客層がみられない。	
		旅行代理店(営業担当)	・年末年始のパッケージツアーの申込が始まり、出足はまずまずである。熟年層を中心に21世紀を記念したクルーズ旅行が売れている。	
	タクシー運転手	・小さな飲食店でも、客に終電の時間を知らせ、タクシー代を浮かせることで再来店を促すなど、タクシー離れは深刻である。		
	住宅販売会社(営業担当)	・引き合い、申込も多いが、実際の契約には客が非常に慎重になり、受注件数はあまり増加していない。		
	その他住宅[情報誌](編集者)	・マンションや住宅の購入動向を特に大きく左右するような金利や税制の動きがない。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	・9月に近隣の商圈に大手スーパーが新規開店するため、客足を取られる可能性が高く、地元の商店街は戦々恐々としている。
		その他専門店[宝石]（経営者）	・リストラの影響等で消費意欲がますます減退している。 ・買い換えるのではなく、修理を行う傾向が強まっている。
	悪くなっている	商店街（代表者）	・今月も商店街で空き店舗が増加し、先月閉店した食料品スーパーの影響もあり、人通りが減少している。
		コンビニ（経営者）	・客の購買意欲が減退している。
企業動向 関連	良くなっている		
	やや良くなっている	一般機械器具製造業（経営者）	・海外からの注文が入ってきている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・最終利用者の半導体、液晶のメーカーの活況が続き、部材の調達に支障をきたすほど忙しく、まだ1年くらいは好況が続く。
		その他製造業[金属製品]（経営者）	・新しい設備が必要になる時期である。
		広告代理店（従業員）	・秋にマンションの新規分譲やショッピングセンターの開店が控えているため期待できる。
		新聞販売店[広告]（店主）	・毎年8月は少ない折込広告数が、ここ2、3年に比べ若干増加している。
	変わらない	一般機械器具製造業（経営者）	・8月に入り、引き合いが低調となっている。
	やや悪くなっている		
	悪くなっている	その他企業[タオル]（団体職員）	・年末に向け需要期に入るが、それなりの受注量は望めない。 ・資金繰りはますます厳しくなる。
		その他企業[自転車製造卸]（団体職員）	・国内生産のコスト削減も限界にきており、先行きは全く不透明な状況である。
雇用関連	良くなっている	人材派遣会社（社員）	・派遣先の景気回復に伴い長期の契約更新が増加し、契約更新を行わない企業はほとんどみられない。
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	・例年、8月期は退職社員の補充等の派遣依頼があるが、それ以外にも業務量の増加に伴う需要が増えてきている。
		人材派遣会社（社員）	・派遣依頼が増加している。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・徐々に手ごたえを感じるが、企業はまだ新たな人材を登用する気になっていない。
	やや悪くなっている	-	-
	悪くなっている	-	-

九州

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連	良くなっている		
	やや良くなっている	商店街（代表者）	・気候も良くなるので客の購買意欲が季節商品などに向かってくるのではないかと期待する。
		コンビニ（店長）	・キャンペーン等の販促の効果が期待でき、行楽客の増加が見込まれる。
		家電量販店（企画担当）	・オリンピックもあるので、今よりは良くなる。
		パチンコ店（従業員）	・新台が発表されるので来客数の増加が予想される。
		旅行代理店（従業員）	・来客数、問い合わせともに増加しており、秋のシーズンに期待できる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	変わらない	商店街（代表者）	・ボーナス期でも上昇傾向がみられなかったことから、秋に向けても同じような動きではないかと思う。
		商店街（代表者）	・消費者が必要でない物は買わない傾向が強く、客単価の下落が目立っている。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・この状態が続くとみており、先が読めない状態である。
		スーパー（店長）	・必要最低限の物しか買わない傾向が続いている。
		コンビニ（エリア担当）	・食品会社の不祥事等で買い控えが起きたり、商品選定が厳しくなっているが、3か月後には元に戻る。
		家電量販店（店員）	・B S デジタル関連により客単価は上昇するが、それがそのまま景気につながるとは考えにくい。
		一般レストラン（経営者）	・夏に消費したお金の調整に2、3か月ほどかかるので、11月ぐらいまではあまりお金は動かないだろう。
		都市型ホテル（スタッフ）	・学会等の団体予約が入っているが、内容的には今と変わらない。
		ゴルフ場（支配人）	・景気の低迷からか、予約も直前まで入らず、明るい材料が見当たらない。
		パチンコ店（従業員）	・現状では景気が良くなる理由が見当たらない。
		タクシー運転手	・夏場はイベントがあったため売上は良かったが、秋口は好材料が見当たらず、期待できない。
		設計事務所（職員）	・景気が悪くなるとは思わないが、良くなる要素が見当たらない。
		住宅販売会社（従業員）	・イベント参加の反応が悪く、来客数も減少している。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	・駅前にまた新たな大型店ができたが、先にできた大型店よりも打撃が大きい。
		百貨店（営業担当）	・景気の不安定と天候要因により客の購買意欲が減退している。
		家電量販店（店長）	・そごうの破たんや雪印問題等で、客は危機感、警戒感をもっており、消費マインドが低下している。
		乗用車販売店（従業員）	・リコール問題でイメージダウンし、信頼回復には時間がかかる。
		高級レストラン（スタッフ）	・リストラの最中なので、個人消費まで回らない。
		スナック（経営者）	・昨年は地元球団の活躍で自宅でテレビを見る人が多かったため、売上は少なかった。今年はどうなるか複雑な気持ちである。
	悪くなっている	衣料品専門店（総務担当）	・金利上昇、株式売却課税一本化等の影響からか、高級品が売れず、秋口からも期待できない。
企業動向関連	良くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	・見積依頼等が入ってきているので、今より良くなっている。
		一般機械器具製造業（経営者）	・IT関連、またそれに関する業種は今からもっと盛んになる。長い目で景気は回復に向かっているのではないか。
	やや良くなっている	輸送業（従業員）	・天候が良いおかげで秋の果物関係も出荷の増加が見込まれる。
		輸送業〔陸上貨物〕（従業員）	・9月からアジヤサバの物流が活発になり、受注及び売上の増加が見込まれる。
		農林水産業（経営者）	・秋口の行楽シーズンに期待したいが、大幅な円安も大きな輸入減もないようなので現状が続く。
	変わらない	電気機械器具製造業（経営者）	・半導体（部品・金型）関連は現在の比較的高い水準で推移する。
		広告代理店（従業員）	・良くなる材料が見当たらない。
		経営コンサルタント	・景気変化の兆しはみえるが3か月後にはまだ現実のものにはなっていない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	やや悪くなっている	輸送用機械器具製造業（営業担当）	・自動車のリコール問題で受注減の可能性が大である。
	悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	・新製品の立ち上げや広告などに期待したいが、現時点では良い材料はない。
雇用 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	・今までより、より良いサービスを提供しようとする企業が増え、それに伴い人材の雇用が進む。
		人材派遣会社（社員）	・企業の教育関連、及び正社員の依頼も増えてきている。
		求人情報誌製作会社（総務担当）	・中途採用は以前はIT関連だったが、中堅中小企業からの引き合いも出始めているので雇用が活性化しており、この状況は続く。
	変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）	・中小企業の採用は多少あると思うが大手は採用を手控えている。
	やや悪くなっている		
	悪くなっている	-	-

(参考) 現在の景気水準に対する判断

現在の景気的水準自体に対する判断は、以下のとおりであった(注)。

図表 - 参考 - 1 各分野における景気の現状水準判断D Iの推移表

(D I)	平成12年					
	3月	4月	5月	6月	7月	8月
合計	46.1	46.0	43.0	43.5	44.6	42.4
家計動向関連	43.6	42.7	39.1	39.7	41.5	38.6
小売関連	40.8	41.6	36.7	38.9	39.0	34.6
飲食関連	45.7	37.5	37.9	37.1	41.5	34.6
サービス関連	46.6	45.4	42.0	40.9	44.5	46.1
企業動向関連	48.5	53.4	51.5	49.4	49.6	47.6
雇用関連	60.9	57.8	56.4	62.0	58.9	62.0

図表 - 参考 - 2 各地域における景気の現状水準判断D Iの推移表(各分野計)

(D I)	平成12年					
	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全国	46.1	46.0	43.0	43.5	44.6	42.4
北海道	40.0	36.8	38.0	40.5	41.3	36.1
東北	43.6	45.4	40.1	41.4	41.0	39.8
関東	46.4	45.6	44.4	45.7	45.9	42.8
東海	52.0	48.5	49.5	48.2	47.2	51.0
近畿	41.9	47.8	41.1	39.7	43.1	41.7
九州	52.6	53.1	45.2	45.5	48.9	43.0

(注) 景気の現状をとらえるには、景気の方角性に加えて、景気的水準自体について把握することも必要と考えられることから、参考までに掲載するものである。

(別紙) 景気ウォッチャー(調査客体)の地域別・分野別構成

	北海道		東北		関東		東海	
合計	100	100.0%	100	100.0%	100	100.0%	100	100.0%
家計動向関連	72	72.0%	73	73.0%	70	70.0%	73	73.0%
小売関連	36	36.0%	35	35.0%	25	25.0%	35	35.0%
商店街代表者	5	5.0%	4	4.0%	1	1.0%	1	1.0%
一般小売店経営者・店員	1	1.0%	2	2.0%	2	2.0%	5	5.0%
百貨店売場主任・担当者	5	5.0%	7	7.0%	6	6.0%	5	5.0%
スーパー店長・店員	5	5.0%	6	6.0%	5	5.0%	6	6.0%
コンビニエリア担当・店長	5	5.0%	4	4.0%	4	4.0%	6	6.0%
衣料品専門店経営者・店員	3	3.0%	3	3.0%	2	2.0%	0	0.0%
インテリア専門店経営者・店員	0	0.0%	2	2.0%	0	0.0%	0	0.0%
家電量販店経営者・店員	5	5.0%	2	2.0%	2	2.0%	3	3.0%
その他専門店経営者・店員	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%	3	3.0%
乗用車・自動車備品販売店経営者・店員	7	7.0%	4	4.0%	3	3.0%	6	6.0%
卸売業従事者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他小売の動向を把握できる者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
飲食関連	12	12.0%	11	11.0%	13	13.0%	9	9.0%
高級レストラン経営者・スタッフ	5	5.0%	3	3.0%	2	2.0%	2	2.0%
一般レストラン経営者・スタッフ	2	2.0%	4	4.0%	6	6.0%	3	3.0%
スナック経営者	4	4.0%	3	3.0%	5	5.0%	4	4.0%
その他飲食の動向を把握できる者	1	1.0%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%
サービス関連	20	20.0%	22	22.0%	29	29.0%	24	24.0%
観光型ホテル・旅館経営者・スタッフ	1	1.0%	5	5.0%	0	0.0%	1	1.0%
都市型ホテル・旅館経営者・スタッフ	0	0.0%	4	4.0%	4	4.0%	3	3.0%
観光名所・遊園地・テーマパーク職員	1	1.0%	3	3.0%	0	0.0%	6	6.0%
ゴルフ場経営者・従業員	0	0.0%	0	0.0%	3	3.0%	1	1.0%
パチンコ店経営者・従業員	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.0%
競輪・競馬・競艇場職員	0	0.0%	3	3.0%	2	2.0%	0	0.0%
その他レジャー施設職員	0	0.0%	0	0.0%	2	2.0%	0	0.0%
旅行代理店経営者・従業員	5	5.0%	2	2.0%	4	4.0%	3	3.0%
タクシー運転手	7	7.0%	3	3.0%	6	6.0%	3	3.0%
美容室経営者・従業員	5	5.0%	2	2.0%	2	2.0%	3	3.0%
ガソリンスタンド従業員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%
その他サービス等の動向を把握できる者	0	0.0%	0	0.0%	6	6.0%	1	1.0%
住宅関連	4	4.0%	5	5.0%	3	3.0%	5	5.0%
設計事務所所長・職員	1	1.0%	2	2.0%	1	1.0%	2	2.0%
住宅販売会社経営者・従業員	3	3.0%	3	3.0%	2	2.0%	3	3.0%
その他住宅投資の動向を把握できる者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
企業動向関連	19	19.0%	19	19.0%	23	23.0%	19	19.0%
地域の産業構造上特色ある企業経営者・従業員	10	10.0%	10	10.0%	17	17.0%	5	5.0%
農林水産業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
食料品製造業	3	3.0%	6	6.0%	2	2.0%	1	1.0%
繊維工業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
家具及び木材木製品製造業	1	1.0%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%
一般機械器具製造業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
電気機械器具製造業(精密機械も含む)	0	0.0%	3	3.0%	5	5.0%	1	1.0%
輸送用機械器具製造業	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%	2	2.0%
その他製造業	1	1.0%	0	0.0%	4	4.0%	1	1.0%
非製造業	5	5.0%	0	0.0%	5	5.0%	0	0.0%
広告代理店従業員・新聞販売店[広告]店主	1	1.0%	4	4.0%	3	3.0%	4	4.0%
輸送業関係者	3	3.0%	3	3.0%	2	2.0%	6	6.0%
司法書士・経営コンサルタント・会計事務所職員等	3	3.0%	2	2.0%	1	1.0%	4	4.0%
コピーサービス業店員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他企業の動向を把握できる者	2	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
雇用関連	9	9.0%	8	8.0%	7	7.0%	8	8.0%
人材派遣会社社員・アウトソーシング企業社員	2	2.0%	6	6.0%	3	3.0%	3	3.0%
求人情報誌製作会社編集者	4	4.0%	0	0.0%	2	2.0%	3	3.0%
新聞社[求人広告]担当者	3	3.0%	2	2.0%	2	2.0%	2	2.0%
その他雇用の動向を把握できる者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

(単位：人 / %)

近畿		九州		全国合計	
100	100.0%	100	100.0%	600	100.0%
68	68.0%	72	72.0%	428	71.3%
32	32.0%	35	35.0%	198	33.0%
7	7.0%	10	10.0%	28	4.7%
0	0.0%	3	3.0%	13	2.2%
4	4.0%	4	4.0%	31	5.2%
4	4.0%	6	6.0%	32	5.3%
3	3.0%	4	4.0%	26	4.3%
2	2.0%	2	2.0%	12	2.0%
1	1.0%	1	1.0%	4	0.7%
2	2.0%	3	3.0%	17	2.8%
5	5.0%	0	0.0%	9	1.5%
3	3.0%	1	1.0%	24	4.0%
1	1.0%	0	0.0%	1	0.2%
0	0.0%	1	1.0%	1	0.2%
8	8.0%	8	8.0%	61	10.2%
2	2.0%	2	2.0%	16	2.7%
4	4.0%	3	3.0%	22	3.7%
2	2.0%	3	3.0%	21	3.5%
0	0.0%	0	0.0%	2	0.3%
23	23.0%	23	23.0%	141	23.5%
2	2.0%	2	2.0%	11	1.8%
3	3.0%	1	1.0%	15	2.5%
3	3.0%	0	0.0%	13	2.2%
1	1.0%	3	3.0%	8	1.3%
0	0.0%	5	5.0%	8	1.3%
3	3.0%	2	2.0%	10	1.7%
1	1.0%	0	0.0%	3	0.5%
2	2.0%	2	2.0%	18	3.0%
3	3.0%	6	6.0%	28	4.7%
4	4.0%	2	2.0%	18	3.0%
1	1.0%	0	0.0%	2	0.3%
0	0.0%	0	0.0%	7	1.2%
5	5.0%	6	6.0%	28	4.7%
1	1.0%	2	2.0%	9	1.5%
2	2.0%	4	4.0%	17	2.8%
2	2.0%	0	0.0%	2	0.3%
23	23.0%	20	20.0%	123	20.5%
11	11.0%	13	13.0%	66	11.0%
0	0.0%	1	1.0%	1	0.2%
0	0.0%	3	3.0%	15	2.5%
2	2.0%	0	0.0%	2	0.3%
0	0.0%	0	0.0%	2	0.3%
3	3.0%	1	1.0%	4	0.7%
3	3.0%	4	4.0%	16	2.7%
0	0.0%	3	3.0%	6	1.0%
2	2.0%	1	1.0%	9	1.5%
1	1.0%	0	0.0%	11	1.8%
3	3.0%	3	3.0%	18	3.0%
2	2.0%	3	3.0%	19	3.2%
3	3.0%	1	1.0%	14	2.3%
0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4	4.0%	0	0.0%	6	1.0%
9	9.0%	8	8.0%	49	8.2%
5	5.0%	3	3.0%	22	3.7%
2	2.0%	2	2.0%	13	2.2%
1	1.0%	3	3.0%	13	2.2%
1	1.0%	0	0.0%	1	0.2%